



愛犬・愛猫のトリミングについて

トリミングとは

ペットの身だしなみを整えるブラッシングやシャンプーのほか、被毛をカットすることをトリミングといいます。簡単に言うと「**長くなりすぎた被毛をカットして適切な長さに調整すること**」です。また、トリミングを行なう人のことをトリマーと呼びます。

トリミングの部位と必要性



今日はトリミングの必要性について僕オーしが紹介するよ！

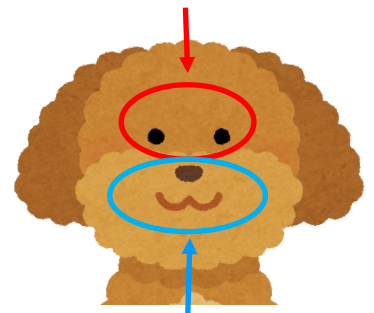
体全体の被毛

犬の中には人間の髪の毛と同じように、被毛をカットしないと延々と伸び続けていく犬種があります。例えばトイプードルやヨークシャーテリアなどです。こうした犬種のトリミングを怠ると、毛がもつれてしまうので定期的に毛を短くカットする必要があります。

目の周りの被毛

目の周りの被毛が伸びていると、垂れ下がった毛先が目目の表面に触れて炎症を起こしてしまいます。炎症が長期化すると角膜炎に発展してしまうかもしれませんので、毛を短くカットする必要があります。

目の周りの被毛



マズル周辺の被毛

マズル周辺の被毛

マズル（鼻周り）周辺の被毛が伸びていると、フードを食べたり水を飲むたびに被毛が濡れたりします。そのまま放置しておくとバクテリアが繁殖して悪臭を放つことがありますので、毛を短くカットしておくと衛生的に保てます。

腹部の被毛

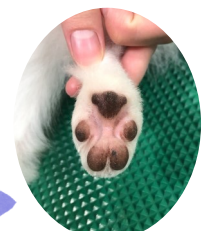
腹部の被毛が伸びすぎると、特に短足犬種では歩くたびに地面に擦れてしまい汚れの原因になってしまいます。またオス犬の場合、排泄のときに尿がかかってしまうかもしれません。ダニが草から飛び出して侵入しやすい場所でもありますので、汚れやすい腹部の毛を短くカットすることをオススメします。

足の裏の被毛

犬の足には肉球が付いており、汗をかくことで滑り止めの役割を果たしています。しかし指と指の間から被毛が伸びていると、肉球が持つ滑り止めの機能が半減し、床の上で滑ってしまいかねません。汚れが染み付いて毛玉にもなるので、毛を短くカットする必要があります。



Before



After

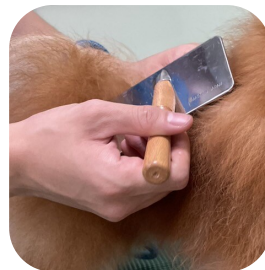
肛門周辺の被毛

肛門周辺の被毛が伸びていると、排泄時に排泄物がこびりついてしまいます。あらかじめ短くカットしておけば汚物が付着することを防ぐことができます。

ご自宅でのお手入れのポイント

ブラッシング

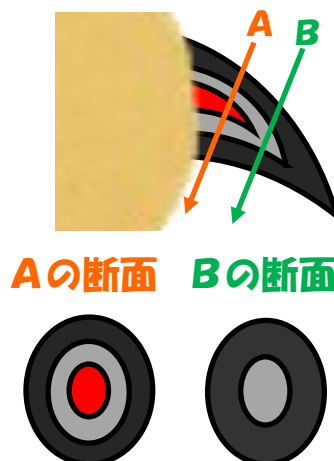
ブラッシングには愛犬の被毛をとがして毛玉を取るだけでなく、愛犬とのスキンシップや皮膚の健康状態を細かくチェックする目的もあります。ブラッシングの時間が「心地よいご褒美の瞬間」になるか「痛くて苦しい我慢の瞬間」になるかは、飼い主さんの力加減次第なのです。信頼関係を構築したうえで、痛みの無いようにブラシを指で軽く持ち手首を使って正しいやり方を心掛けることがポイントです。



爪きり

犬の爪も人と同じように伸び続けるので、爪のお手入れも大切です。爪が伸びすぎるとフローリングで滑ったり、折れて出血するなど思わぬ怪我の原因になってしまったりと危険があります。犬用爪きりで爪の部分だけ切ることがポイントです。足の裏を横から見た時にパッドからはみ出ない程度、パッドと同じ位置くらいの長さが目安です。

Aの部分で爪を切ってしまうと、血管を傷つけてしまうため出血します。ですが、Bの部分で爪を切ると血管にはとどいていないので出血することはありませんので少しずつ様子をみながら、短くしていきましょう。



耳掃除

犬の耳には自浄作用があるため、耳掃除は目に見える範囲の耳垢を優しく拭き取るだけで充分です。コットンにイヤークリーナーをつけて耳の内側の汚れを拭き取るようにケアします。耳垢が赤黒い、臭い、ドロツとしている、ひどく嫌がるなどの症状があれば感染症を引き起こしている可能性が高いので、動物病院で見てもらうことをオススメします。



Before

After

愛犬・愛猫が生活しやすいように
お手入れ頑張ろう！



?自宅でのセルフトリミングではダメなの？

ペットに負担がかからないように、少しずつカットできるのはセルフトリミングのメリットです。一方でハサミを使うため、皮膚を切ってしまうリスクがあります。わんちゃんの皮膚は薄いので、バリカン負けをしてしまうことも少なくありません。また、カットだけでなくシャンプーやブラッシングなどにも技術やコツがいります。

お湯の温度、シャンプーの泡立て方、洗い方、ブラッシングの仕方、乾かし方などを誤ると、皮膚にダメージを与えてしまう可能性もあります。そのため、ある程度セルフトリミングに自身のある方以外は、トリミングサロンでプロに任せた方が安心です。

ケアセンターではトリミングだけでなく、爪きり、耳掃除、肛門腺処置、部分カットなどのお手入れもお受けしています。ご利用に関しては条件があります。トリミングの予約状況によりお日にち等に関りがありますが、アニマルケアセンタースタッフまでお気軽にお声かけください。



ワンちゃんの性格や体調等によってはお受けできないことがあります。